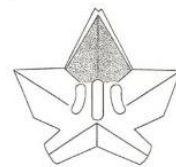


# 宝達山

宝達志水町立宝達小学校

目指す児童像

- ☆よく考える子
- ☆思いやりのある子
- ☆たくましくやりぬく子

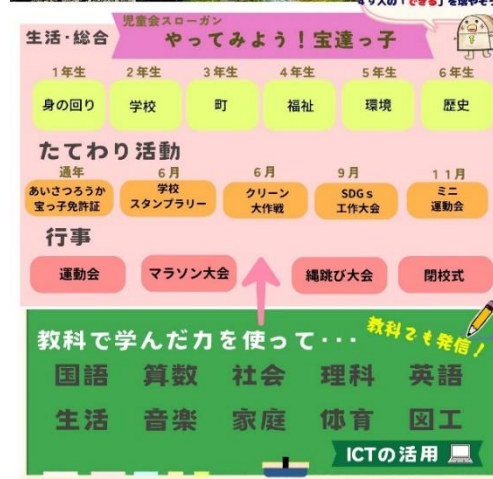


令和6年7月1日(月)  
文責 校長 村田 浩彦

## 「エシカル」な見方・考え方を！



今年度、本校では「宝プロジェクト」に取り組んでいるということについて、以前ホームページでお伝えしました。閉校となる今年、子どもたちは、様々な学習をとおして宝達小学校や自分たちの住む宝達小学校区の良さを再認識するとともに、それを外部へ発信する活動に取り組むことになっています。先日、6年生が企画してくれた「宝プロジェクト～クリーン大作戦 IN 今浜海岸」もその活動の一つです。



現在の教育活動においては、SDGs(持続可能な開発目標)を扱うことが求められており、本校の取組もその要請に沿ったものであるとも考えています。SDGsには17ゴールが設定されており、ゴール12「つくる責任・使う責任」では、生産する側と消費する側が、ともに持続可能な生産・消費形態を目指すという内容となっています。「エシカル消費」や「エシカル商品」という言葉をお

聞きになったことがあるかと思います。もともと「エシカル」は「倫理的な」という意味ですが、地球環境や、人、社会に対して配慮しながら生産されたものを購入・消費すること、またその商品のことを指しています。「エシカル消費」「エシカル商品」は、わたしたちの消費生活をとおして、環境保全や社会へ配慮・貢献するという考え方だと思っています。

また、最近ニュースで「エシカル就活」という言葉を知りました。「エシカル就活」とは、学生が就職活動をする際に、環境保全や労働環境に配慮しながら活動を行っているかを重視して企業を選択することをいいます。

本校の子どもたちが就職する頃も、この考え方が大切になってくるものと思われます。日本の若者が経済や社会、環境に関わる問題意識が高くないことが指摘されていますが、小学生のうちから「宝プロジェクト」や「クリーン大作戦 IN 今浜海岸」のような活動に取り組むことで「エシカル」な見方・考え方が身に付いてくれればと考えています。

ご理解ご協力を宜しくお願いいたします。



レインフォレスト・アライアンス認証マーク